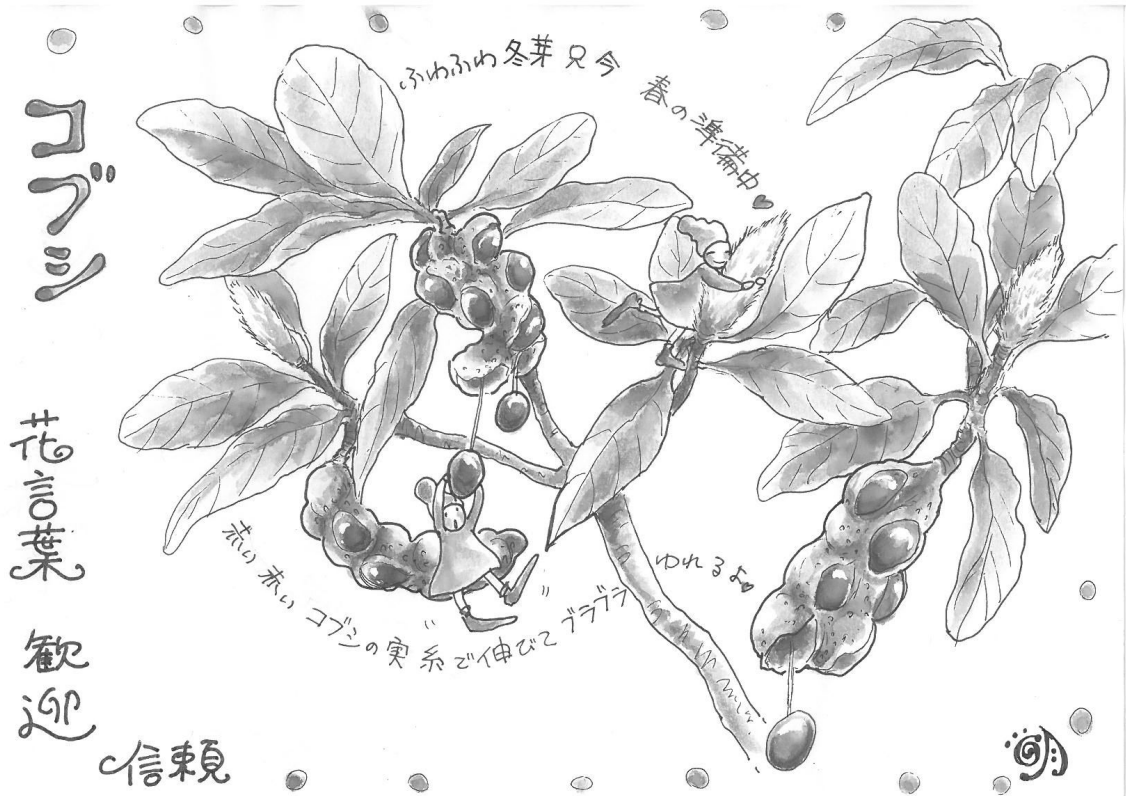


ハヶ岳だより

川崎市ハヶ岳少年自然の家
NO.51
2014. 9. 30



夏から秋に季節が駆け足で過ぎていきます。
自然の家でも夏休みシーズンが8月24日に終わり翌25日から自然教室がやってきました。
夏休み終了から直ぐに自然教室では準備とか体調管理とか、子供たちも先生方も大変だったと思います。
この夏休みもたくさんの子供たちがハヶ岳を訪れました。初めてテントに寝た子、スポーツの練習に汗を流した子、たくさんのお笑いに出会えることが出来ました。
沢山ご利用いただき、大変ありがとうございました。
話は変わり久々にマンガの話。先日我が家の高校生の次男が「読んで見て」とコミックを5冊持ってきました。
題名は「コウノドリ」という、講談社モーニングに掲載されているマンガです。
内容はモーニングは男性誌なのに、妊娠・出産にまつわる「順調ではない」ケースに対応する産科医の話で、面白くて一晩で一気読みしてしまいました。
我が家にも3人子どもがいますが、あの時の緊張と感動を思い出しました。
読み終えたあと次男と彼が産まれた時の話や、母親には絶対感謝しなくちゃいけない、食事の片づけ位手伝わないといけないと、日頃から何もしていない男性陣のあるある話で盛り上がっていると奥様が聞いていてクスクス笑っていました。
「報恩謝徳」奥様と子供への感謝を再確認させてくれた夜でした。
自然の家に来る子供たちも、ハヶ岳で過ごす時間で親・兄妹・先生・周りの人たちに感謝する気持ちが芽生えればうれしく思います。



八ヶ岳の秋模様

「八ヶ岳の秋は8月のお盆を過ぎると始まる。」と言ったらみなさんビックリしますか？その頃、透明感のある日の光の中で冷たい風にコスモスが揺れていると、その色の鮮やかさに早くも秋が来たことを感じたりします。気の早いシラカバは早くも葉を散らし始めます。

9月の半ばになるとナナカマドの実が赤く色付き、サクラなどの紅葉も始まります。美味しいキノコが沢山採れる時期でもあります。本格的に紅葉が始まるのはもう少し先の10月半ばから11月上旬になります。

やがて、カラマツが金色の雨を降らしはじめ、様々な山のカエデ類がにぎやかに森を彩ってくれますが、もうすぐそこまでやってきている冬の気配に背中を押されているようなあわただしさで、11月のある日木枯らしが吹きすべてを散らしてゆくといった短い命の紅葉です。

このような繊細な季節の変化を目の当たりにできるのは本当に幸せなこと。少年自然の家にいらっしゃるお客様にも、ぜひゆっくりと秋の八ヶ岳の自然を味わっていただきたいと思えます。(K)



主催事業紹介【八ヶ岳ぐるっとハイキング】

平成26年度の主催事業「八ヶ岳ぐるっとハイキング」をご紹介します。

中学生以上の方を対象に、八ヶ岳の裾野に広がる自然豊かなウォーキングコースを季節に応じて楽しみながら歩くプランです。

5月には新緑の美しい野辺山から飯盛山を25人のお客様と歩きました。

7月は台風で残念ながら中止になりましたが、白樺湖を見下ろす八子ヶ峰からぐるっと霧ヶ峰を歩いて和田峠までのロングコースを三日間で歩くコースでした。ぜひ来年実施をとのうれしいお声をいただき、検討中です。

そして先月は紅葉の始まった北八ヶ岳の雨池や白駒池をめぐるハイキングを15名のお客様と楽しく歩いてきました。

11月には紅葉の清里川俣溪谷と天女山を歩き、温泉と新そばを味わう欲張りなプランが控えています。

仕上げは1月24日～25日実施の「極寒のスノーシューハイキング」です。

冬の厳しい中にも美しい八ヶ岳を堪能していただきたいとプランを練っているところです。

全4回全て参加していただいたお客様には完歩賞を差し上げのお約束ですが、ありがたいことに対象になるお客様が沢山いらっしゃいます。ぜひ皆さんに達成していただきたいと思っています。

それぞれのプランは、地元ならではの情報を盛り込むように工夫を心がけています。

みなさまのご参加をお待ちしております。(K)



(ちょっとお薦めの一冊)

「地球ばんざい」 まど みちお 著

童謡「ぞうさん」などで知られているまどみちおさんの詩集です。山や空、風、空気、雨など、自然のものを題材にしてつくられた詩が掲載されています。

その1つ「落葉」という詩の抜粋を載せます。

(「地球ばんざい」株式会社理論社 抜粋)

「落葉」

人の耳には ただ
「かさっ…」としかひびきませんが
その一言を 忘れる落葉はありません
きん色の秋の空から おりてきて
いま 地面にとどいた
という その一しゅんに
...

林の中を歩いていると耳をすましてしまいます。落葉の見方がちょっと変わりますね！！



イベントへの出展参加

自然の家のことをより多くの方々に知っていただこうと、今年はいくつものイベントに出展参加しています。

長野県の植樹祭や地元富士見のオッコウ祭り、富士見パノラマリゾートで9月に開催された「木暮人祭り」ほか。

出展内容は、自然の家でおこなっている木のクラフトです。

川崎市八ヶ岳少年自然の家は、2人以上ならばどなたでもご利用できるので、イベントをきっかけにご利用していただけたらと思っています。

11月1日～3日に開催される「かわさき市民祭り」にも、今年も富士見町役場の職員と一緒に自然の家の職員も参加しますので、ぜひ声をかけに「富士見町」のブースに来てください！！



近隣施設紹介

自然の家のある富士見町周辺には、美術館が多くあります。

その中の絵本に関する美術館について紹介したいと思います。

大正から昭和にかけて活躍した童画家武井武雄の作品を中心に展示している「イルフ童画館」、ばばあちゃんなどの絵本の作家さとうわかきさんが主宰する「小さな絵本美術館」と「八ヶ岳小さな絵本美術館」、絵本作家松村雅子さん、造形作家松村太三郎さん夫婦が開設した「えほん村」、ころわんなどの絵本の作家黒井健さんの「黒井健絵本ハウス」、へびとりのうたなどの絵本の作家東君平さんの作品が展示してある「くんぺい童話館」、その他「絵本の樹美術館」、「小淵沢絵本美術館」、「絵本ミュージアム清里」などなど。

それぞれの館も特徴がありますので、絵本美術館めぐりをしてみてください！！



主催事業 森の工作教室 「クリスマスリースとつるかご編み」の募集

12月の森の工作教室は、クリスマスリース作りとつるかご編みです。
自然素材を使って手作りとおしゃべりを楽しんでみませんか！！

開催日：平成26年12月6日（土）～7日（日）1泊2日

自然の家集合12：30

宿泊：川崎市八ヶ岳少年自然の家

内容：6日 13時～16時 クリスマスリース作り（大小
様々な松ぼっくりなど使って作ります。）

7日 9時～12時 つるかご編み（編むことの面白
さを体験しましょう！）

募集対象：中学生以上

参加費：1名様 6,000円

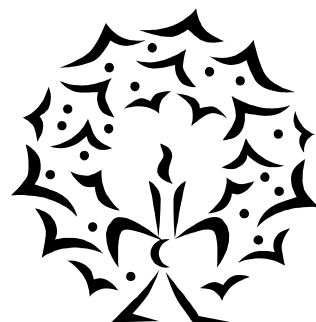
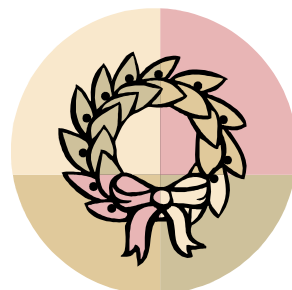
（一泊二食付 材料代等含む）

募集定員：20名（先着順）

申込期間：平成26年11月6日（木）まで

申込み方法：はがきかファックスで、事業名（クリスマスリースとつるかご編み）、住所、電話、
参加者氏名、年齢を記入して、少年自然の家あてお送りください。

または、自然の家ホームページ内「クリスマスリースとつるかご編み参加申込書」に
て申込みください。



川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 （一社）富士見町開発公社

～あとがき～

夏もいつのまにか終わり、秋に移り
変わりました。

涼しさの中、木々の葉も段々と黄色
や赤に色づき、山全体が少しずつ装い
を変えてきています。

町の景色も、田んぼの黄金色が目立
ち、コメの収穫時期を迎えました。

春夏秋冬、その季節の色を味わいに
自然の家へ来ませんか。

(D)